

[平成23年度設置]

計画の区分：大学の設置

大阪物療大学

【認可】設置に係る設置計画履行状況報告書

学校法人 物療学園
平成23年5月1日現在

作成担当者

担当部局（課）名 事業運営部門

職名・氏名 部門長 ウエノ 上野 ヨシヒロ 好洋

電話番号 072-260-0088

（夜間） 072-260-0088

F A X 072-260-0011

e-mail soumu@butsuryo.ac.jp

1 調査対象大学等の概要等

(1) 設置者

学校法人 物療学園

(2) 大学名

大阪物療大学

(3) 大学の位置

〒593-8328
大阪府堺市西区鳳北町3丁33番地

(4) 管理運営組織

職名	届出時	変更状況	備考
理事長	(タナカ ヒロシ) 田中 博司 (平成21年10月)		
学長	(タナカ ヒロシ) 田中 博司 (平成23年4月)		
学部長	(カナモリ イサオ) 金森 勇雄 (平成23年4月)		
学科長等	(コミズ ミツル) 小水 満 (平成23年4月)		

(5) 調査対象学部等の名称, 定員, 入学者の状況等

(5) - ① 調査対象学部等の名称, 定員

調査対象学部等の 名称(学位)	設置時の計画				備 考
	修業年限	入学定員	編入学定員	収容定員	
保健医療学部 診療放射線技術学科 学士(診療放射線学)	4 年	80 人	— 年次 人	320 人	

(5) - ② 調査対象学部等の入学者の状況

区分	対象年度		平成20年度		平成21年度		平成22年度		平成23年度		平均入学定員 超過率	備 考
	春季入学	その他の学期	春季入学	その他の学期	春季入学	その他の学期	春季入学	その他の学期	春季入学	その他の学期		
A 入学定員	人	人	人	人	人	人	80人	人	()	()	1.05 倍	
志願者数	()	()	()	()	()	()	170	()	()	()		
受験者数	()	()	()	()	()	()	168	()	()	()		
合格者数	()	()	()	()	()	()	96	()	()	()		
B 入学者数	()	()	()	()	()	()	84	()	()	()		
入学定員超過率 B/A							1.05					

(5) - ③ 調査対象学部等の在学者の状況

学年	対象年度		平成20年度		平成21年度		平成22年度		平成23年度		備考
	春季入学	その他の学期	春季入学	その他の学期	春季入学	その他の学期	春季入学	その他の学期	春季入学	その他の学期	
1年次	[-]	[-]	[-]	[-]	[-]	[-]	[-]	[-]	84	-	
2年次			[-]	[-]	[-]	[-]	[-]	[-]	-	-	
3年次					[-]	[-]	[-]	[-]	-	-	
4年次									[-]	[-]	
計	[-]	[-]	[-]	[-]	[-]	[-]	[-]	[-]	84	-	

(5) -④ 調査対象学部等の退学者等の状況 該当なし

区分 対象年度	退学者数 (a)	在学者数 (b)	入学者に対する 退学者数の割合 (a/b)
平成20年度 (平成20年4月1日～ 平成21年3月31日)	計 []	(累積)計 []	%
	うち平成20年度入学者 人	うち平成20年度 人	
	(主な退学理由)		
平成21年度 (平成21年4月1日～ 平成22年3月31日)	計 []	(累積)計 []	%
	うち平成20年度入学者 人	うち平成20年度 人	
	うち平成21年度入学者 人	うち平成21年度 人	
	(主な退学理由)		
平成22年度 (平成22年4月1日～ 平成23年3月31日)	計 []	(累積)計 []	%
	うち平成20年度入学者 人	うち平成20年度 人	
	うち平成21年度入学者 人	うち平成21年度 人	
	うち平成22年度入学者 人	うち平成22年度 人	
	(主な退学理由)		

2 授業科目の概要

<保健医療学部 診療放射線技術学科>

(1) 授業科目表

科目区分	授業科目の名称	配当年次	単位数			専任教員等の配置					備考
			必修	選択	自由	教授	准教授	講師	助教	助手	
基礎 教 育 科 目	基礎ゼミナール	1前	2			2	1	1	1	0	オムバス
	基礎物理	1前	2			1					
	基礎数学	1前	2			1					
	基礎化学	1前		2							兼1
	基礎生物	1前		2							兼1
	数学演習	1後		1							兼1
	自然科学演習	1後		1							兼1
	情報科学	1前	2			1					
	情報科学演習	1前	1			1				1	
	論理と記述演習	1後		1							兼1
	自然環境システム論	1後		2							兼1
	プログラミング演習	2前		1							兼1
	研究法入門	3前・後	1			1					
	生命と倫理	1前	2			1				1	
	健康の科学	1前		2							兼1
	地球と環境	1前		2							兼1
	心理と行動	2前		2							兼1
	宗教と民族	2前		2		1					
	文化の比較	2後		2		1					
	地域と福祉	3前		2			1				
	中国の文化	3後		2				1		1	
	表現法入門	1後	1						1		
	コミュニケーション演習	2後		1				1			
	プレゼンテーション演習	3前・後		1							兼1
英語Ⅰ（基礎）	1前	2			1					兼1	
英語Ⅱ（応用）	1後	2			1					兼1	
英語Ⅲ（実践）	3後		2		1						
専 門 基 礎 科 目	解剖学Ⅰ（動物性機能に関わる系）	1後	2								兼1
	解剖学Ⅱ（植物性機能に関わる系）	1後	2								兼1
	生理学・生化学	1後	2			1					
	病理学	2前		2							兼1
	社会医学	3前		2							兼1
	形態機能学実習	2前	1			1	1	1		1	
	放射線医学概論	2前	2			1					
	一般内科学	2後		2							兼1
	臨床病態学概論	2後		2							兼1
	患者看護論	2前		1							兼1
	救命救急医療論	3前		2							兼6
	リハビリテーション概論	3前		1		1	1				オムバス
	医用物理学	2前	2			1					
	医用工学Ⅰ（電気工学の基礎）	1後	2			1					
	医用工学Ⅱ（エレクトロニクス）	1後		2		1					
	応用数学	2前		2		1					
	粒子線工学	2後		2		1					
	診療放射線序論	1前	1			1					
	診療放射線物理Ⅰ（基礎）	1後	2			1					
	診療放射線物理Ⅱ（応用）	2前		2		1					
	放射化学Ⅰ（基礎）	1後	2								兼1
	放射化学Ⅱ（応用）	2前		2							兼1
放射線生物学	2後	2			1						
放射線計測学Ⅰ（基礎）	2前	2								兼1	
放射線計測学Ⅱ（応用）	2後		2							兼1	

(3) 未開講科目 該当なし

番号	授業科目名	単位数	配当年次	一般・専門	必修・選択	未開講の理由, 代替措置の有無
1						
2						
3						

(4) 廃止科目 該当なし

番号	授業科目名	単位数	配当年次	一般・専門	必修・選択	廃止の理由, 代替措置の有無
1						
2						
3						

(5) 授業科目を未開講又は廃止としたことに係る「大学の所見」及び「学生への周知方法」

該当なし

(6) 「認可時の計画の授業科目数の計」に対する「未開講科目と廃止科目の計」の割合

$$\frac{\text{未開講科目と廃止科目の計}}{\text{認可時の計画の授業科目数の計}} = \boxed{0}$$

3 施設・設備の整備状況、経費

区 分		内 容				備 考			
(1) 校 地 等	区 分	専 用	共 用	共用する他の 学校等の専用	計	借用面積 2,152.00㎡ 借用期間 20年 校舎敷地と別地 (約8km 自動車約15分)			
	校 舎 敷 地	2,996.84 ㎡	0 ㎡	0 ㎡	2,996.84 ㎡				
	運 動 場 用 地	2,152.00 ㎡	0 ㎡	0 ㎡	2,152.00 ㎡				
	小 計	5,148.84 ㎡	0 ㎡	0 ㎡	5,148.84 ㎡				
	そ の 他	221.29 ㎡	0 ㎡	0 ㎡	221.29 ㎡				
	合 計	5,370.13 ㎡	0 ㎡	0 ㎡	5,370.13 ㎡				
(2) 校 舎		専 用 (6,142.17 ㎡)	共 用 (0 ㎡)	共用する他の 学校等の専用 (0 ㎡)	計 (6,142.17 ㎡)				
(3) 教 室 等		講 義 室 8 室	演 習 室 4 室	実験実習室 11 室	情報処理学習施設 1 室 (補助職員 1 人)	語学学習施設 室 (補助職員 人)	大学全体 情報処理施設と語学学 習施設は共通		
(4) 専任教員研究室		新設学部等の名称 保健医療学部			室 数 21 室	大学全体			
(5) 図 書 ・ 設 備	新設学部等 の名称	図 書 〔うち外国書〕 冊	学術雑誌 〔うち外国書〕 種	電子ジャーナル 〔うち外国書〕	視聴覚資料 点	機 械 ・ 器 具 点	標 本 点	大学全体	
	保健医療学部	16,000 [1,000] (15,791 [803])	40 [10] (27 [5])	750 [10] (0 [0])	200 (103)	5,000 (4,858)	100 (102)		
	計	16,000 [1,000] (15,791 [803])	40 [10] (27 [5])	750 [10] (0 [0])	200 (103)	5,000 (4,858)	100 (102)		
(6) 図 書 館		面 積 329.22 ㎡	閱 覧 座 席 数 50 席	収 納 可 能 冊 数 20,000 冊				大学全体	
(7) 体 育 館		面 積 307.56 ㎡	体育館以外のスポーツ施設の概要 該当なし						大学全体
(8) 経費の見積り及び維持方法の概要	区 分	開設年度	完成年度	区 分	開設前年度	開設年度	完成年度	大学全体	
	教員 1 人当り 研究費等	300千円	300千円	図書購入費	2,000千円	2,000千円	2,000千円	図書費には電子ジャーナル、データベースの整備費（運用コスト含む）を含む。	
	共 同 研 究 費 等	5,000千円	5,000千円	設備購入費	31,493千円	5,250千円	- 千円		
	学生 1 人当り 納付金	第 1 年次	第 2 年次	第 3 年次	第 4 年次	第 5 年次	第 6 年次		
		1,880千円	1,580千円	1,580千円	1,580千円	- 千円	- 千円		
学生納付金以外の維持方法の概要		寄付金収入、資産運用収入、雑収入等							

4 既設大学等の状況 該当なし

大学の名称		〇〇大学								備考
既設学部等の名称	修業 年限	入 定 学 員	編入 学 員	収 定 容 員	学位又 は称号	定 員 超 過 率	開 年 設 度	所 在 地		
	年	人	年次 人	人		倍				
/										
大学の名称		〇〇短期大学								備考
既設学部等の名称	修業 年限	入 定 学 員	編入 学 員	収 定 容 員	学位又 は称号	定 員 超 過 率	開 年 設 度	所 在 地		
	年	人	年次 人	人		倍				
/										

5 教員組織の状況

<保健医療学部 診療放射線技術学科>

(1) 専任教員数

認可時の計画						変更状況						備考
教授	准教授	講師	助教	計	助手	教授	准教授	講師	助教	計	助手	
15	2	4	1	22	3							
(10)	(1)	(1)	(1)	(13)	(0)	[]	[]	[]	[]	[]	[]	

(2) 専任教員辞任等の理由 該当なし

番号	職位	専任教員氏名	辞任（就任辞退を含む）等の理由
1			

(3) 専任教員交代に係る「大学の所見」及び「学生への周知方法」

該当なし

6 留意事項に対する履行状況等

区 分	留 意 事 項	履 行 状 況	未履行事項について の実施計画
認 可 時 (平成22年10月)	・設置の趣旨・目的等が活かされるよう、設置計画を確実に履行すること。また、開設時から4年制大学にふさわしい教育研究活動を行うことはもとより、その水準を一層向上させるよう努めること。	設置計画に基づき、より質の高い教育研究活動を行うために諸規程の整備、各種委員会の設置等を行った。継続して計画履行に必要な組織、制度等の整備を進めている。	
	・運動場及び体育館が別地にあることから、教育に支障のないようにすることはもとより、学生の課外活動等に配慮すること。	運動場への学生送迎用マイククロバス及び運行表を新入生オリエンテーション、ホームルーム時に学生へ周知し課外活動等の使用に即座に対応できる様、準備している。 また、5/14にスポーツフェスティバルを実施する事により、運動場の利便性等を学生に認識させる事を考えている。尚、運動場、体育館の使用については定期的に学生へのアンケート調査を実施し、学生のニーズに対応する様、努める。	
	・教員の年齢構成が高いため、教育研究の継続性を踏まえ、今後の採用計画など、教員組織編成の将来構想を着実に実行すること。（特に後任の教員の採用にあたっては、教授及び准教授も含めて公募を行うことが望ましい。）		必要時期に留意事項を吟味し、実施する予定である。
設置計画履行状況 調 査 時 (△△年△△月)	該当なし		
設置計画履行状況 調 査 時 (□□年□□月)	該当なし		
設置計画履行状況 調 査 時 (●●年●●月)	該当なし		

7 その他全般的事項

<保健医療学部 診療放射線技術学科>

(1) 設置計画変更事項等

変更予定なし	
--------	--

(2) 教員の資質の維持向上の方策（FD活動含む）

<p>① 実施体制</p> <p>a 委員会の設置状況 4月の教授会にて構成委員が確認されFD委員会が設置された。</p> <p>b 委員会の開催状況（教員の参加状況含む） FD委員会を5月中旬に開催予定。</p> <p>c 委員会の審議事項等</p> <ol style="list-style-type: none">(1) FD推進のための企画及び実施に関すること(2) FDに関する報告書等の作成に関すること(3) FDに関する調査・研究に関すること(4) 教育内容及び教育環境の改善に関すること(5) 教育技法の改善・向上のための具体的活動に関すること(6) 学生による授業評価の実施・結果公表と授業改善に関すること(7) 教育職員の資質向上を図るための組織的な研修に関すること(8) その他、FDの推進に関すること <p>② 実施状況</p> <p>a 実施内容</p> <ul style="list-style-type: none">・現在、準備中 <p>b 実施方法</p> <ul style="list-style-type: none">・現在、準備中 <p>c 開催状況（教員の参加状況含む）</p> <ul style="list-style-type: none">・現在なし <p>d 実施結果を踏まえた授業改善への取組状況</p> <ul style="list-style-type: none">・現在なし
--

(3) 自己点検・評価等に関する事項

① 設置の趣旨・目的の達成状況に関する総括評価・所見

(別紙のとおり)

② 自己点検・評価報告書

a 公表（予定）時期

- ・教育研究水準の向上を図る為に自己点検評価は、全学的に取り組む事を基本としている。既に大学評価委員会を設置し規定整備が終了し、初年度がスタートした。H25年1月頃より評価委員会主導で報告書作成を行い、H25年6月を公表予定としている。

b 公表方法

- ・本学の教育研究、社会貢献、大学管理運営の現状及び今後の課題について報告書の発刊及び本学ホームページでの公開を予定している。
これにより社会への説明責任を果たすとともに、大学内外から種々のご意見を頂き、改善・改革の取り組みを推進したいと思っている。

③ 認証評価を受ける計画

- ・自己点検・評価報告書の第3回発刊（H29年6月）年度を予定している。

(4) 情報提供に関する事項

○ 設置計画履行状況報告書

- b 公表時期（未公表の場合は予定時期）（平成23年 6月 1日 ）
- c 文部科学省ホームページから、貴学ホームページの「設置計画履行状況報告書」掲載ページへのリンク
（承諾する・承諾しない）
- d 上記で「承諾する」を選んだ場合、そのリンク先のアドレス
（http://www. ）未定

設置の趣旨・目的の達成状況に関する総括評価・所見

1. 設置の趣旨・目的

本学においては、「人間教育」の考え方を基本として、放射線医療の高度化や専門特化に対応するための基礎的な知識と技術の習得に加えて、医療現場に携わる職業人として求められている幅広い視野と豊かな人間性、高い倫理観、的確な対人関係形成力、他者との協調・協働力、継続的な自己研鑽力、研究能力を身につけた職業人を育成することで、地域医療の向上に寄与することを目指すとしている。

また、専門分野における学術研究の進展に対応するための研究機能の整備と研究組織の充実を図ることによる知的資源を還元することで、地域貢献のための教育・研究拠点としての役割を果たすことを目指すことから、「専門性を活かした人材育成により地域医療の向上に寄与する」こと及び「地域貢献のための教育・研究拠点として知的資源を還元する」ことを教育研究上の目的とする。

2. 人材養成と取り組み

保健医療学部診療放射線技術学科では「診療放射線技師に求められる幅広い視野と豊かな人間性の涵養に加えて、診療放射線技術学分野に関する基礎的な理論と技術を習得したうえで、それを現場で活用することができる実践的な能力を備えるとともに、診療放射線技師としての継続教育を見据えて、生涯成長し続けるために必要な基盤となる基本的な資質能力を有した人材を育成する」という学部教育における人材養成の目的としている。

教育課程の編成においても、人材養成の目的を踏まえて、放射線医学の理論と実践を融合する教育内容としているとともに、放射線医学に関する基礎、基本を体系的に履修することが可能となる教育課程の編成としていることから、専任教員の配置については、放射線医学分野における主要な授業科目を中心に配置することとしている。

3. 達成状況に関する総括評価・所見

開学時、就任予定の専任教員はすべて就任した。次年度以降就任予定の専任教員も含めて開学前、11月と3月に教員説明会を行い、本学の教育研究上の理念、目的、人材養成の目的、修得させる具体的な能力、教育課程の編成の考え方、教育方法、履修指導方法、入学者の受入方針、学生生活指導、各種規定、コンプライアンス等について説明を行い、共通認識のもと教育、研究の水準向上に努めている。

新入学生に対して、本学入学後の自然科学系科目へのスムーズな接続を図るため、高校で物理、生物を履修していない学生に対して計3回の入学前学習会を開催するとともに、入学生全員に授業開始前に新入生オリエンテーションにて学生便覧およびシラバスを用い、建学の精神をはじめ、教育目標、カリキュラム内容、履修方法などについて説明を行った。またプレテストを実施し、基礎科目の理解度を上げる対策を考案している。入学して約10日後の研修旅行では、団体行動、研修参加を通して、チーム医療に必要な協働・協調・相互扶助の資質の涵養、医療人として挨拶の励行、時間・マナー・ルールの遵守等の必要性の理解、診療放射線技師を目指す学生としての自律心の養成を目的として研修を実施している。

今後も設置の趣旨・目的の達成に向けた教育、研究を推進していくため、継続的に大学組織全体で取り組んでいるところである。